

岩見沢市プール施設個別施設計画

令和4年3月

岩見沢市教育委員会

目次

1 岩見沢市プール施設個別施設計画の概要	1
1 背景・目的	1
2 計画の位置づけ	1
3 対象施設の設定	2
4 計画の策定手順	2
5 計画期間	2
2 基本情報の把握	3
3 施設の現況評価	4
1 施設の現状情報の収集・整理	4
2 施設の現状情報に基づく個別施設の方向性に関する検討【1次評価】	9
4 施設の環境評価	25
1 対象施設の配置状況	25
2 対象施設の利用状況	26
3 施設の基本方針に関する検討【2次評価】	27
4 各施設の2次評価（基本方針）	29
5 プール施設の個別施設計画	30
1 長寿命化のための基本的な方針	30
2 各施設の個別施設計画	31
3 推進・取組体制	31

1 岩見沢市プール施設個別施設計画の概要

1 背景・目的

本市のプール施設は、生涯スポーツの振興を図り、市民が健康で生きがいのある豊かな生活を送るうえで必要なものとして設置されてきた。

平成18年の市町村合併に伴い、旧市町村の施設をそのまま引き継いできたため、同一・類似した施設があり、また、経年による老朽化が進んでいる施設も少なくなく、修繕費などの維持管理費の増大とともに、耐震化や環境問題への対応など、財政上も大きな負担となっている。

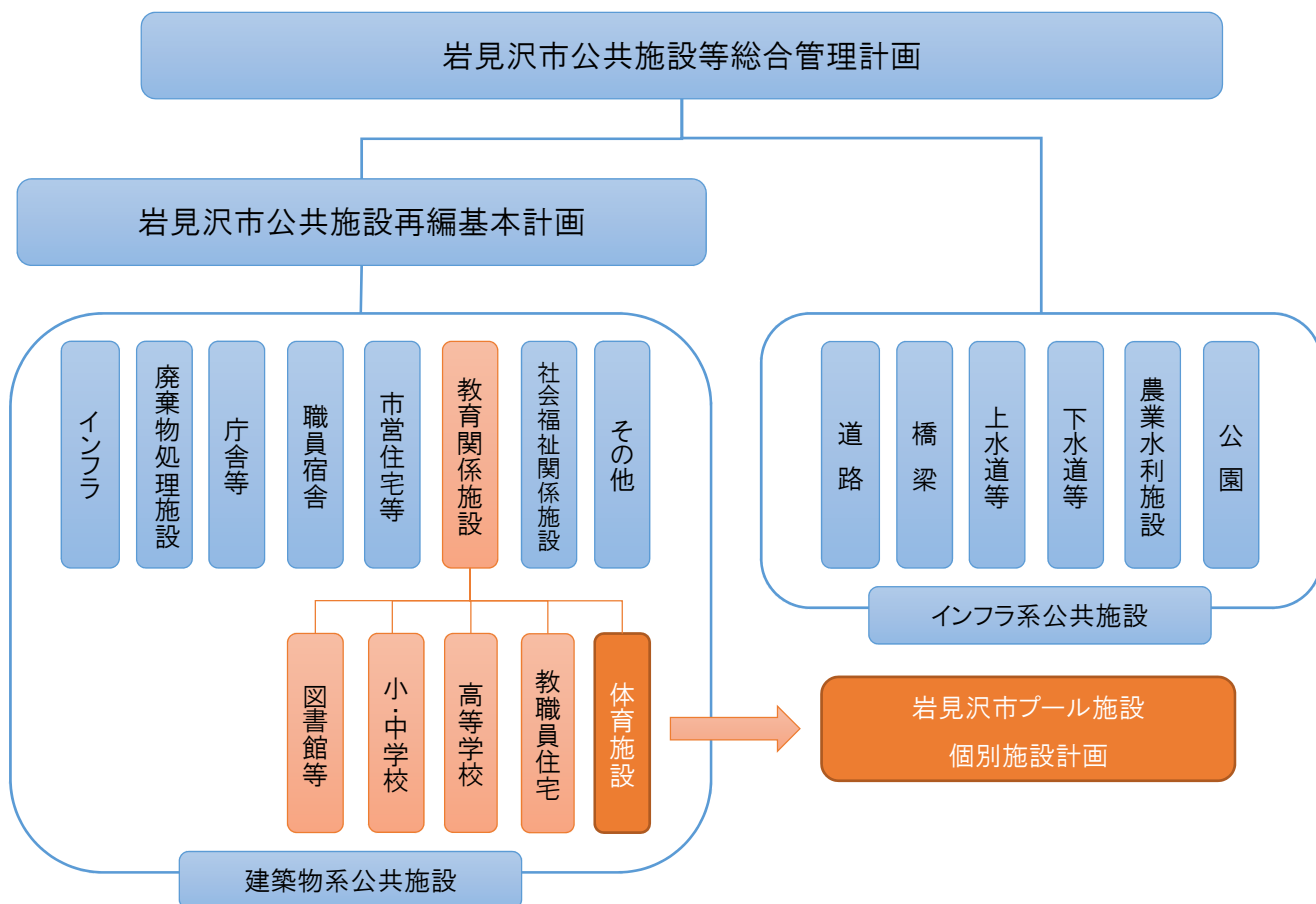
しかしながら、地域のスポーツ活動の維持と少子高齢化や多様化する生涯学習に対するニーズに応える必要もあることから、厳しい財政状況の中、より質の高いサービスを効率よく、継続して提供することが求められている。

こうした中、岩見沢市では平成28年12月に「岩見沢市公共施設等総合管理計画」、平成31年3月に「岩見沢市公共施設再編基本計画」を策定し、公共施設等の適正な保有と配置、維持管理費等に関する基本的な方針を定めた。

これを受けて、プール施設の設置意義、利用形態や管理運営の観点から今後のあり方等を検証し、今後のプール施設整備の方向性を示すために、この計画を策定する。

2 計画の位置づけ

本計画は、「岩見沢市公共施設等総合管理計画」及び「岩見沢市公共施設再編基本計画」に基づく個別施設計画として位置づける。



3 対象施設の設定

この計画での対象施設は、「岩見沢市公共施設再編基本計画」における施設群のうち、「プール」に分類されている2施設「体育施設（屋内）」のうち1施設を対象とする。

施設名	延床面積 [㎡]	建築年	大規模改修 実施年	経過 年
岩見沢市温水プール	1,639.08	1996(平成8)	-	24
岩見沢市北村プール	1,086.37	1998(平成10)	-	22
栗沢B&G海洋センター（プール）	1,202.63	1993(平成5)	-	27

※令和3年3月31日現在

4 計画の策定手順

(1) 基本情報の把握

各施設の基本情報の調査を行う。基本情報の把握にあたっては「岩見沢市施設カルテ」を活用し、建築年や構造、床面積などの整理を行う。

(2) 施設の現況評価（1次評価）

基本情報をもとに施設の現況調査を行い、「安全性・機能性」、「経済性」、「耐震性」の評価を行い、各施設の整備手法を検討する。

(3) 施設の環境評価（2次評価）

1次評価の結果に、各施設の地域内での配置や類似施設の配置状況、稼働率や利用傾向の評価を加えて、各施設の基本方針を検討する。

(4) 個別施設計画

上記の結果をもとに各施設の個別施設計画を策定する。

5 計画期間

本計画は、「岩見沢市公共施設再編基本計画」の計画期間である平成30年度から令和7年度までのうち、令和3年度から令和7年度までを第1期の計画期間とし、その後10年ごとに更新するものとする。

2 基本情報の把握

本計画の対象施設における基本情報は次のとおりである。

施設 名称	棟名称	棟用途	主体構造	建築 年月日	法定 耐用 年数	残存 耐用 年数	階数		延床 面積 (㎡)	耐震 基準
							地上	地下		
岩見沢市 温水プール	温水 プール	その他	鉄筋 コンクリート	H8. 2. 1	38	14	1		1, 639. 08	新
岩見沢市 北村プール	屋内 プール	その他	鉄筋 コンクリート	H10. 6. 1	38	17	1		1, 086. 37	新
栗沢 B&G 海洋センター	プール	その他	鉄骨造	H5. 6. 1	31	6	1		1, 202. 63	新

基準日 令和2年3月31日

3 施設の現況評価

1 施設の現状情報の収集・整理

対象施設の現状を明らかにするために、「安全性・機能性」「経済性」「耐震性」の分析に資する基礎情報を収集・整理する。

(1) 安全性・機能性に関する基礎情報

各施設の現況調査を、建築専門技術職員2名とともに施設管理者立ち合いのうえ実施した。以下に評価基準と調査結果を示す。項目ごとの詳細な判定・評価については、各施設の現況調査シートによる。

【安全性の評価基準】

	A	B	C	D
躯体	10年未満	20年以上	30年以上	40年以上
屋根・屋上	新築、全面改修	支障なし	一部雨漏り	雨漏り多数
外壁	健全	支障なし	クラック、剥離あり	クラック、剥離多数
外構	健全	良好	経年劣化有り	地盤沈下等
耐震性	旧耐震：昭和56年以前		新耐震：昭和57年以後	

【機能性の評価基準】

	A	B	C	D
窓ガラス	Low-E 複層ガラス以上	A以下の複層ガラス	コーキングが切れているなど	破損
サッシ	断熱サッシ	A以外のサッシ	建付が悪い	破損
内装	改修5年以内	利用に支障がない	一部破損がある	破損が多い
室内環境	良好	利用に支障がない	一部支障がある	支障がある
空調設備	良好	利用に支障がない	一部支障がある	支障がある
トイレ設備	良好	利用に支障がない	一部支障がある	支障がある
電気設備	改修5年以内	利用に支障がない	一部破損がある	破損が多い

給水設備	改修5年以内	利用に支障がない	一部破損がある	破損が多い
排水設備	改修5年以内	利用に支障がない	一部破損がある	破損が多い
バリアフリー	バリアフリー化 100%	75%以上	50%以上	50%以下
省エネ対策	LED化 断熱性能が十分	一部LED化 結露なし	LED化なし 結露あり	照明器具の破損あり 著しく寒い
災害対策	避難所としての機能がある	一部機能がある	ほぼない	全くない

【法令適合性の評価基準（共通）】

	A	B	C	D
法令適合性	指摘がなく改修後5年以内	指摘がない	支障のある指摘がない	指摘がある

【各施設の判定】

	安全性	機能性	法令適合性	安全対策
岩見沢市温水プール	C	C	B	C
岩見沢市北村プール	C	B	B	B
栗沢B&G海洋センター	B	C	B	B

(2) 経済性に関する基礎情報

各施設の維持管理にかかる経費（市支出分）について、施設の床面積と利用人数からコスト分析を行う。

① 岩見沢市温水プール

維持管理にかかる経費

単位：円

	H29	H30	H31
修繕費	178,956	0	2,827,000
手数料	0	0	0
指定管理者委託料	30,591,000	31,005,000	30,975,000
工事請負費	0	0	0
備品購入費	0	0	0
合計	30,769,956	31,005,000	33,802,000

使用料等の収入

単位：円

	H29	H30	H31
使用料	82,467	82,884	93,964
財産貸付料	0	0	0
補助金・負担金	0	0	0
その他	0	0	0
合計	82,467	82,884	93,964

利用者数

単位：人

	H29	H30	H31
利用者数	62,735	62,216	55,601

コスト比較

単位：円

	H29	H30	H31
総額（歳出-歳入）	30,687,489	30,922,116	33,708,036
面積当たり（円/m ² ）	18,722	18,866	20,565
1人当たり（円/人）	489	497	606

② 岩見沢市北村プール

維持管理にかかる経費

単位：円

	H29	H30	H31
修繕費	550,800	0	0
手数料	0	0	0
指定管理者委託料	6,837,000	6,835,000	6,927,000
工事請負費	0	0	0
備品購入費	0	0	0
合計	7,387,800	6,835,000	6,927,000

使用料等の収入

単位：円

	H29	H30	H31
使用料	6,053	6,053	6,108
財産貸付料	0	0	0
補助金・負担金	0	0	0
その他	0	0	0
合計	6,053	6,053	6,108

利用者数

単位：人

	H29	H30	H31
利用者数	5,245	4,343	4,692

コスト比較

単位：円

	H29	H30	H31
総額（歳出-歳入）	7,381,747	6,828,947	6,920,892
面積当たり（円/m ² ）	6,795	6,286	6,371
1人当たり（円/人）	1,407	1,572	1,475

③ 栗沢B&G海洋センター（アリーナ含む）

維持管理にかかる経費

単位：円

	H29	H30	H31
修繕費	92,880	199,800	788,400
手数料	0	0	0
指定管理者委託料	15,478,000	18,501,000	19,260,981
工事請負費	91,545,120	0	0
備品購入費	0	0	0
合計	107,116,000	18,700,800	20,049,381

使用料等の収入

単位：円

	H29	H30	H31
使用料	16,630	16,727	16,881
財産貸付料	0	0	0
補助金・負担金	0	0	0
その他	0	0	0
合計	16,630	16,727	16,881

利用者数

単位：人

	H29	H30	H31
利用者数	15,295	25,985	25,068

コスト比較

単位：円

	H29	H30	H31
総額（歳出-歳入）	107,099,370	18,684,073	20,032,500
面積当たり（円/㎡）	34,468	6,013	6,447
1人当たり（円/人）	7,002	719	799

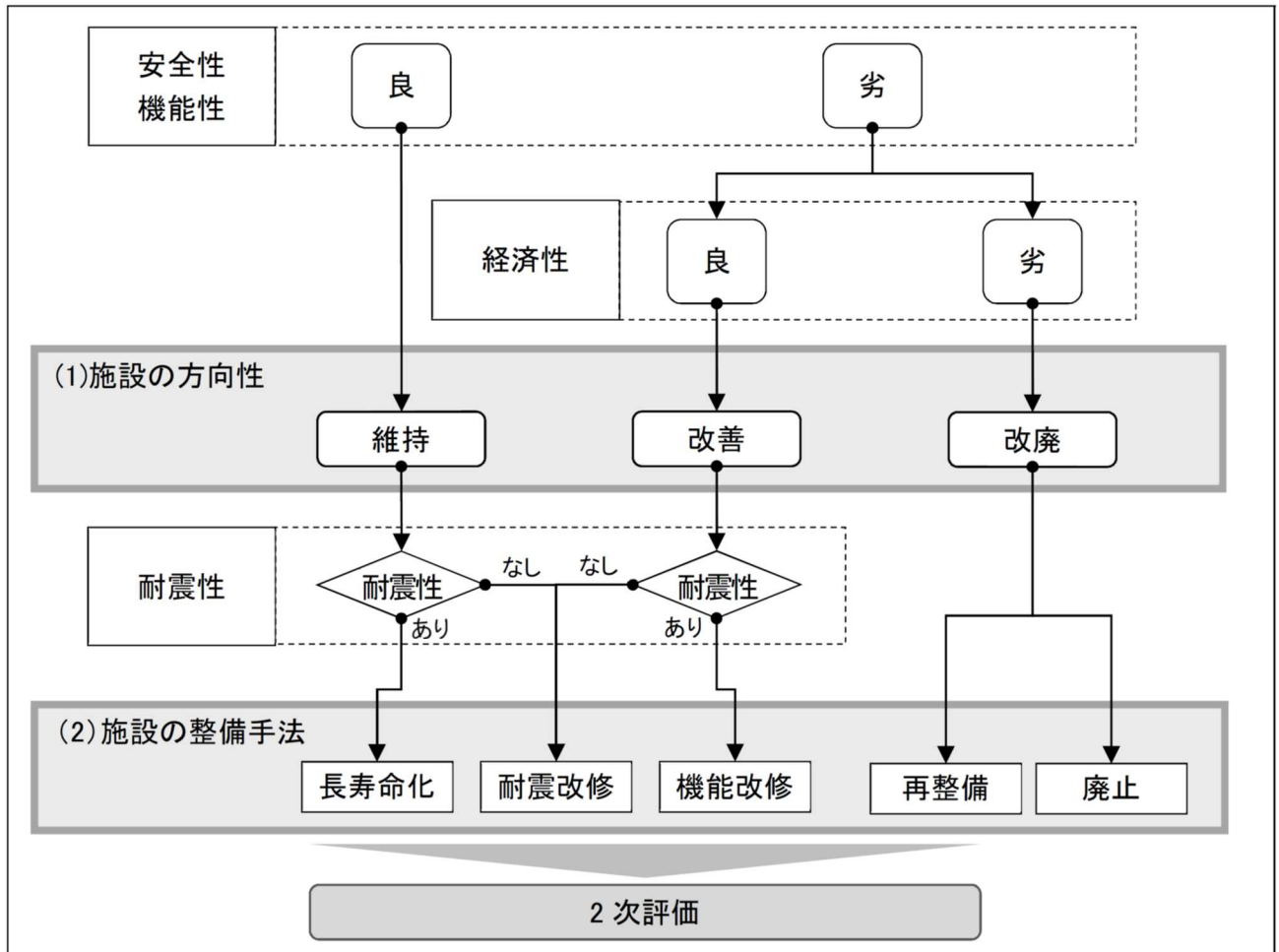
（3）耐震性に関する基礎情報

建築基準法で定める耐震基準が改正された昭和56年以前に建築された施設については、耐震診断の実施の有無にかかわらず耐震基準を満たしていないものとして分類する。

施設名称	建築年月日	耐震性
岩見沢市温水プール	平成8年2月1日	有り
岩見沢市北村プール	平成10年6月1日	有り
栗沢B&G海洋センター	平成5年6月1日	有り

2 施設の現状情報に基づく個別施設の方向性に関する検討【1次評価】

これまでの現状分析をもとに、各施設の一次評価を行う。1次評価にあたっては、「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン（スポーツ庁）」が示す次のフローチャートを活用する。

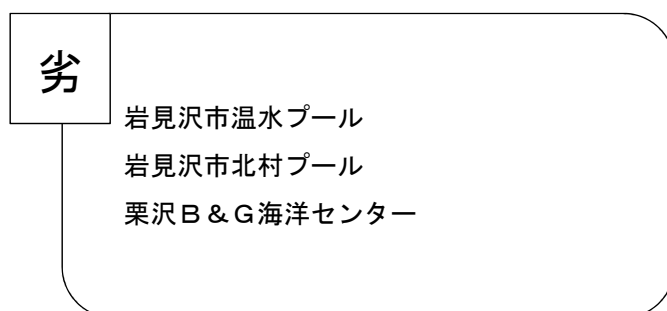


(1) 施設の方向性の検討

・安全性、機能性の評価

各施設の現況調査の結果により、次の評価基準に基づき「良」施設と「劣」施設に分類する。

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none">・全体的に劣化、不具合等の事象が確認されない。・部分的な劣化、不具合等の事象が確認されるが、緊急性が低い（日常的な保守管理及び経過観察により対応）。・法定点検での是正勧告がない、又は是正事項が既に改善されている（改善予定も含む）。・スポーツ施設の安全対策がなされている。	良
<ul style="list-style-type: none">・全体的な劣化、不具合等、若しくは著しい劣化・不具合等の事象が確認され、全面的な補修若しくは改修が必要である。・劣化、不具合等の事象により、重大な事故、施設の利用制限、又は緊急に補修若しくは改修が必要である。・法定点検での是正勧告があり、是正が長期間放置されている、若しくは重大な事故、施設の利用制限が想定される。・重大な事故の恐れがあり、安全に関する対策が実施されていない。	劣



・経済性の評価

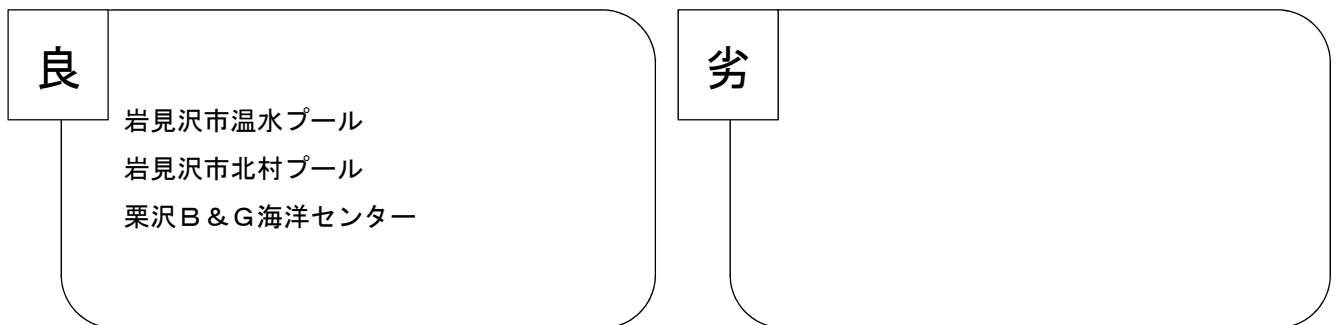
コスト分析に基づき、各施設を比較して「良」施設と「劣」施設に分類する。

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・改善コスト、維持管理コストの発生が標準よりも少ない。 ・収入が多く、今後も施設利用が見込める。 ・維持管理コストが多く、収入も少ない施設であるが、維持管理・収入の運用面での見直しの可能性がある。 	良
<ul style="list-style-type: none"> ・改善コスト及び維持管理コストが多く、収入も標準よりも少ない施設で、維持管理、収入の運用面での見直しの可能性がない。 ・相対的、若しくは目標値に対して、著しく状況が悪い。 	劣

各施設のコスト比較（H31）

単位：円

施設名称	面積当たりコスト	一人当たりコスト
岩見沢市温水プール	20,565	606
岩見沢市北村プール	6,371	1,475
栗沢B&G海洋センター	6,447	799



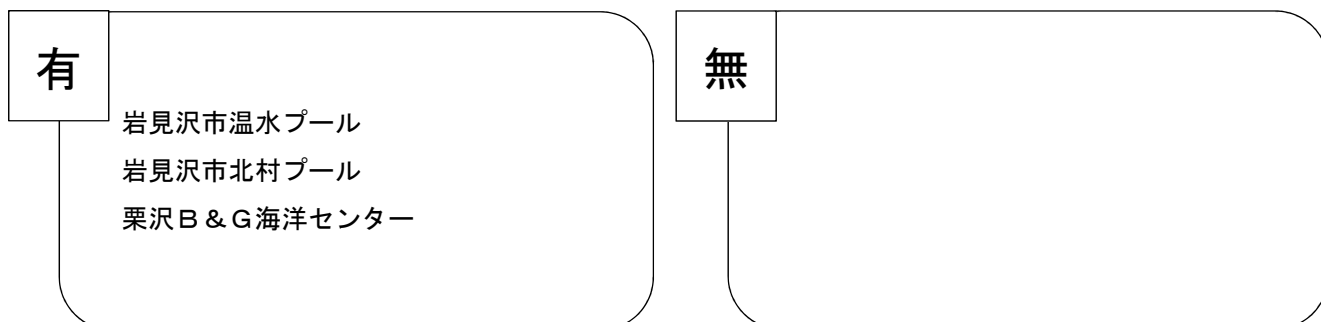
安全性・機能性、経済性の評価からフローチャートに当てはめて、各施設の方向性を定めると次のとおりとなる。

施設の方向性	施設名	
改善	岩見沢市温水プール	岩見沢市北村プール
	栗沢B&G海洋センター	

(2) 施設の整備手法の検討

次に、施設の方向性に耐震性の評価を加味して、方向性に基づいた各施設の整備手法を検討する。

・耐震性の評価



以上のことから、1次評価におけるフローチャートに当てはめると、各施設の整備手法は次のとおりとなる。

施設の整備手法	施設名
機能改修	岩見沢市温水プール、岩見沢市北村プール、栗沢B & G海洋センター

(3) 評価結果の取りまとめ

各施設の評価結果については、次の各施設の現況調査シートのとおりである。

施設名 岩見沢市温水プール

1 基本情報

所在地	岩見沢市9条東2丁目1-1
構造	鉄筋コンクリート(一部鉄骨造)
階数	2階建て
建築年月	平成8年2月
避難所指定	無し
延べ床面積	1,639.08㎡
建築面積	1,557.89㎡
敷地面積	4,662.00㎡
施設概要	一般プール、低学年プール、事務室、更衣室、シャワー室、採暖室、機械室、指導員室、ミーティングルーム、パウダールーム、ギャラリー、用具室、オーバーフロー-FPR製、全自動砂式濾過機
駐車台数	18台

再編基本計画での方向性

H30-R3	R4-R7	R8-R17	R18-R27
		方向性の検討	



2 設備情報

建築		電気		機械	
屋根	アスファルト露出防水	受電設備	キュービクル(屋外)	空調	温水暖房、床暖房
外壁	コンクリート打放し、金属板	昇降機	無し	トイレ	男 洋式3 和式0 小便器4
自動ドア	有	照明	蛍光灯・水銀灯		女 洋式4 和式0
窓	複層ガラス	放送設備	未改修		多 洋式便座2
床	長尺ビニルシート(館内)			給水設備	受水槽5.5㎡(未改修)
	タイル(プール)			排水設備	下水道(未改修)
バリアフリー	入口スロープ・手すり				

3 工事履歴(主なもの)

実施年度	工事名
H7	温水プール新築工事
H7	温水プール新築主体追加工事
H17	温水プール床改修工事

4 財務情報(R1)

市収支 (千円)

歳入		歳出	
使用料	94	光熱水費	0
財産貸付料		維持保全費	2,827
補助金・負担金		指定管理料	30,975
その他		使用料	0
		人件費	0
		その他	0
	94		33,802



6 劣化度調査

項目	細目	判定				概要	判定
		A	B	C	D		
安全性	躯体		○				C
	屋根・屋上				○	館内雨漏りあり	
	外壁				○	クラック多数	
	外構			○			
	耐震性	新耐震					
機能性	窓ガラス				○		C
	サッシ				○		
	内装				○		
	室内環境			○			
	空調設備			○			
	トイレ設備		○			洋式化済み	
	電気設備			○			
	給水設備		○				
	排水設備		○				
	バリアフリー		○				
	省エネ対策			○			
	災害対策				○		
法令適合性	12条点検結果						B
	消防点検		○				
	電気工作物点検		○				
	地下タンク		○				
安全対策	特定天井対策	特定天井有(未対策)				プール天井	C
	AED	有					
	落下防止対策	未済					
	非構造部材耐震対策	未済					

各室状況

施設名	広さ	縦×横	天井高	床材	照明設備	備考
一般プール	375.40m	15.01m×25.01m	6.1m	タイル	水銀灯	25m×7コース
低学年プール	90.21m	6.01m×15.01m	6.1m	タイル	水銀灯	
ミーティングルーム・指導員室	57.76㎡	7.22m×8.00m	2.5m	ビニルシート	蛍光灯	

7 施設写真

	<p>一般プール 競技用ラインが消えかかっている。</p>		<p>低学年プール</p>
--	-----------------------------------	--	---------------

	<p>照明 水銀灯使用</p>		<p>機械設備 新築時から使用しているものが多く、いずれも更新時期を迎えている。</p>
--	---------------------	--	--

	<p>ポーチ支柱 腐食あり</p>		<p>屋上防水 一部修繕対応済み。劣化箇所多数</p>
---	-----------------------	---	---------------------------------

	<p>外壁 クラック多数</p>		<p>排気管 劣化による腐食有り</p>
--	----------------------	--	--------------------------

<p>施設の方向性</p>	<p>改善</p>	<p>整備手法</p>	<p>機能改修</p>
<p>2次評価の必要性</p>	<p>有</p>		
<p>その他特記事項</p>			

施設名 岩見沢市北村プール

1 基本情報

所在地	岩見沢市北村中央4725
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	平屋建て
建築年月	平成10年6月
避難所指定	無し
延べ床面積	1,086.37㎡
建築面積	1,086.37㎡
敷地面積	2,784.26㎡
施設概要	25m×6コース、低学年・幼児用プール、事務室、監視員室、トイレ(多目的)、更衣室、シャワー室等
駐車台数	20台

再編基本計画での方向性

H30-R3	R4-R7	R8-R17	R18-R27
		方向性の検討	



2 設備情報

建築		電気		機械	
屋根	アスファルト露出防水	受電設備	無し	空調	無し
外壁	タイル、塗装	昇降機	無し	トイレ	男 洋式2 和式0 小便器2
自動ドア	無	照明	蛍光灯・水銀灯		女 洋式3 和式0
窓	複層ガラス	放送設備	未改修		多 暖房温水洗浄便座
床	長尺ビニルシート(館内)			給水設備	直圧式(未改修)
	モルタル塗装(プール)			排水設備	浄化槽(未改修)
バリアフリー	入口スロープ・手すり				

3 工事履歴(主なもの)

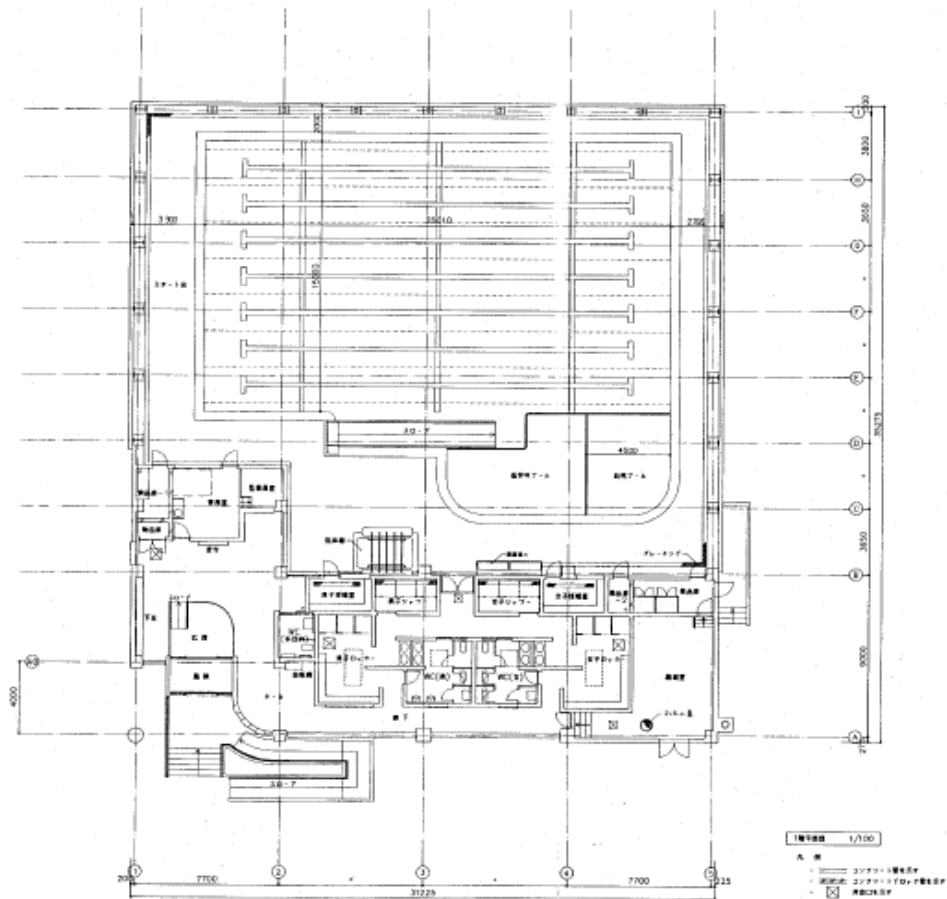
実施年度	工事名
H9	村営プール新築工事
H15	北村営プールプール棟床塗装工事
H16	北村営プールプール棟塗装工事
H16	北村営プール上屋シート購入取付工事
H16	プールサッシ取替工事

4 財務情報(R1)

市収支 (千円)

歳入		歳出	
使用料	6	光熱水費	0
財産貸付料		維持保全費	0
補助金・負担金		指定管理料	6,927
その他		使用料	0
		人件費	0
		その他	0
	6		6,927

5 施設図面



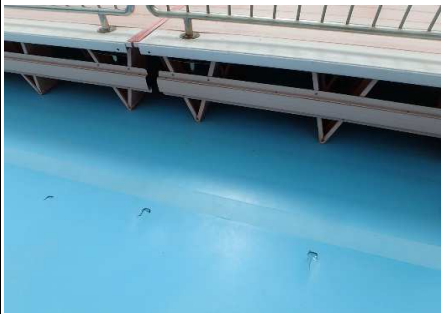

6 劣化度調査

項目	細目	判定				概要	判定
		A	B	C	D		
安全性	躯体		○				C
	屋根・屋上			○		屋上防水劣化	
	外壁				○	プール鉄骨錆び	
	外構				○	タイル剥落	
	耐震性	新耐震					
機能性	窓ガラス			○			B
	サッシ		○				
	内装			○			
	室内環境			○			
	空調設備		○				
	トイレ設備		○				
	電気設備		○				
	給水設備		○				
	排水設備		○				
	バリアフリー		○				
	省エネ対策			○			
	災害対策				○		
法令適合性	12条点検結果						B
	消防点検		○				
	電気工作物点検		○				
	地下タンク					無し	
安全対策	特定天井対策	特定天井無し					B
	AED	有					
	落下防止対策	未済					
	非構造部材耐震対策	未済					

各室状況


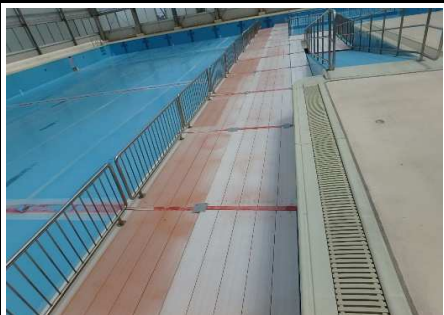
施設名	広さ	縦×横	天井高	床材	照明設備	備考
一般プール	375.40m	15.01m×25.01m	4.80m～8.65m	モルタル塗装	水銀灯	25m×6コース
低学年プール	45.00m	7.50m×6.00m	4.80m～8.65m	モルタル塗装	水銀灯	
幼児用プール	27.00㎡	4.50m×6.00m	4.80m～8.65m	モルタル塗装	水銀灯	

7 施設写真

	<p>プール水槽 積雪による床破損</p>		<p>プール内壁 風雪による劣化</p>
--	---------------------------	--	--------------------------

	<p>機械設備 新築時から使用しているものが多く、いずれも更新時期を迎えている。</p>		<p>屋上防水 雨漏りはないものの劣化が進行している。</p>
--	--	--	-------------------------------------

	<p>プール鉄骨 サビあり</p>		<p>ポーチ支柱 タイル剥離、落下</p>
---	-----------------------	---	---------------------------

	<p>トイレ 洋式化済み</p>		<p>プール水槽 学校授業に対応できないため、特注台座を使用し、低学年用プールを拡幅している。</p>
--	----------------------	--	---

<p>施設の方角性</p>	<p>改善</p>	<p>整備手法</p>	<p>機能改修</p>
<p>2次評価の必要性</p>	<p>有</p>		
<p>その他特記事項</p>			

施設名 栗沢B&G海洋センター

1 基本情報

所在地	岩見沢市栗沢町最上506-1
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
階数	2階建て
建築年月	平成5年6月
避難所指定	避難所
延べ床面積	3,107.24㎡
建築面積	3,107.24㎡
敷地面積	17,339.00㎡
施設概要	アリーナ、第2体育館、ミーティングルーム、プール、更衣室、シャワー室、トイレ(身障者用あり)、事務室
駐車台数	20台

再編基本計画での方向性

H30-R3	R4-R7	R8-R17	R18-R27
H29大規模改修実施		方向性の検討	



2 設備情報

建築		電気		機械	
屋根	金属板	受電設備	屋外キュービクル	空調	個別ヒーター
外壁	モルタル	昇降機	無し	トイレ	男 洋式2 和式0 小便器5
自動ドア	無	照明	蛍光灯・水銀灯		女 洋式5 和式0
窓	複層ガラス	放送設備	未改修		多 温水洗浄便座
床	長尺ビニルシート(館内)			給水設備	受水槽4㎡(未改修)
	モルタル塗装(プール)			排水設備	下水道(未改修)
バリアフリー	スロープ				

3 工事履歴(主なもの)

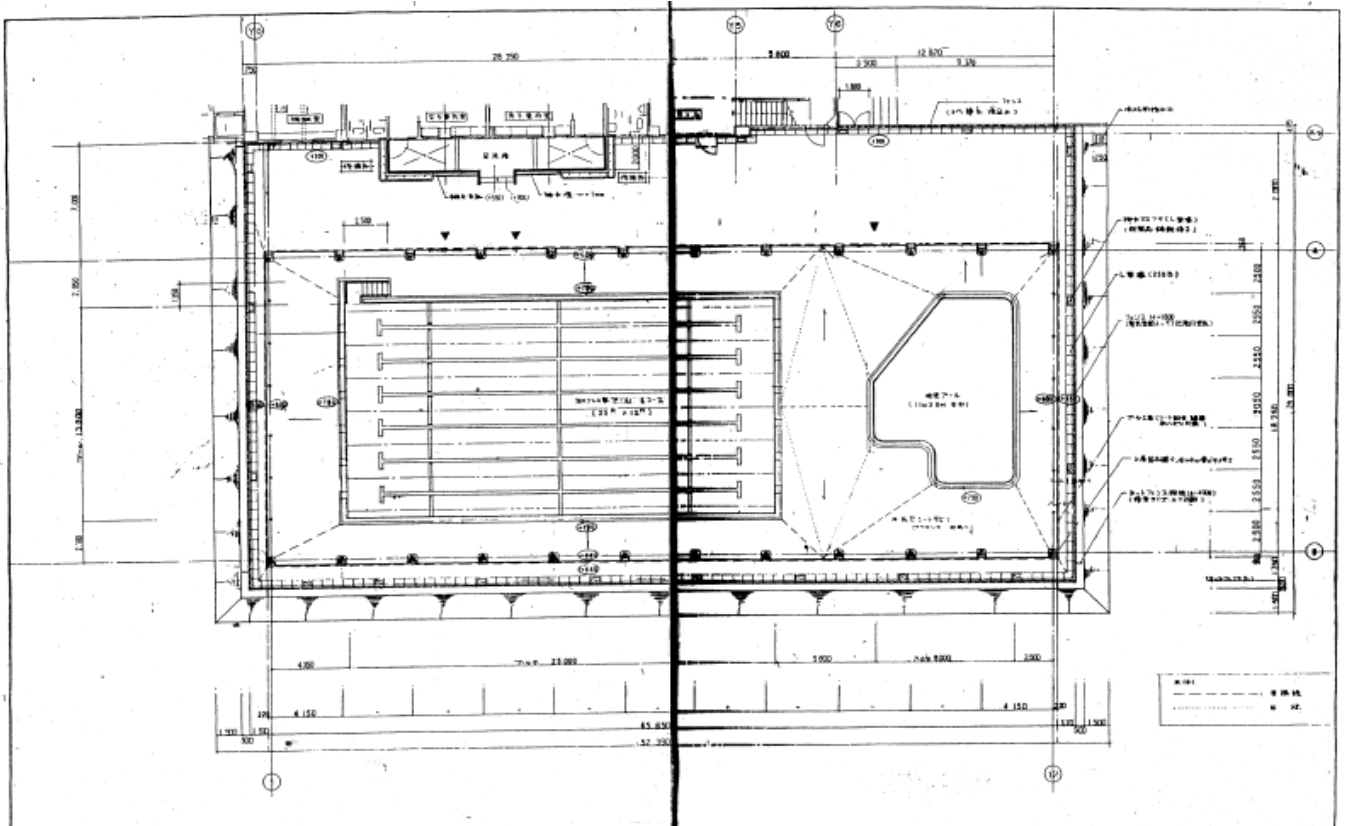
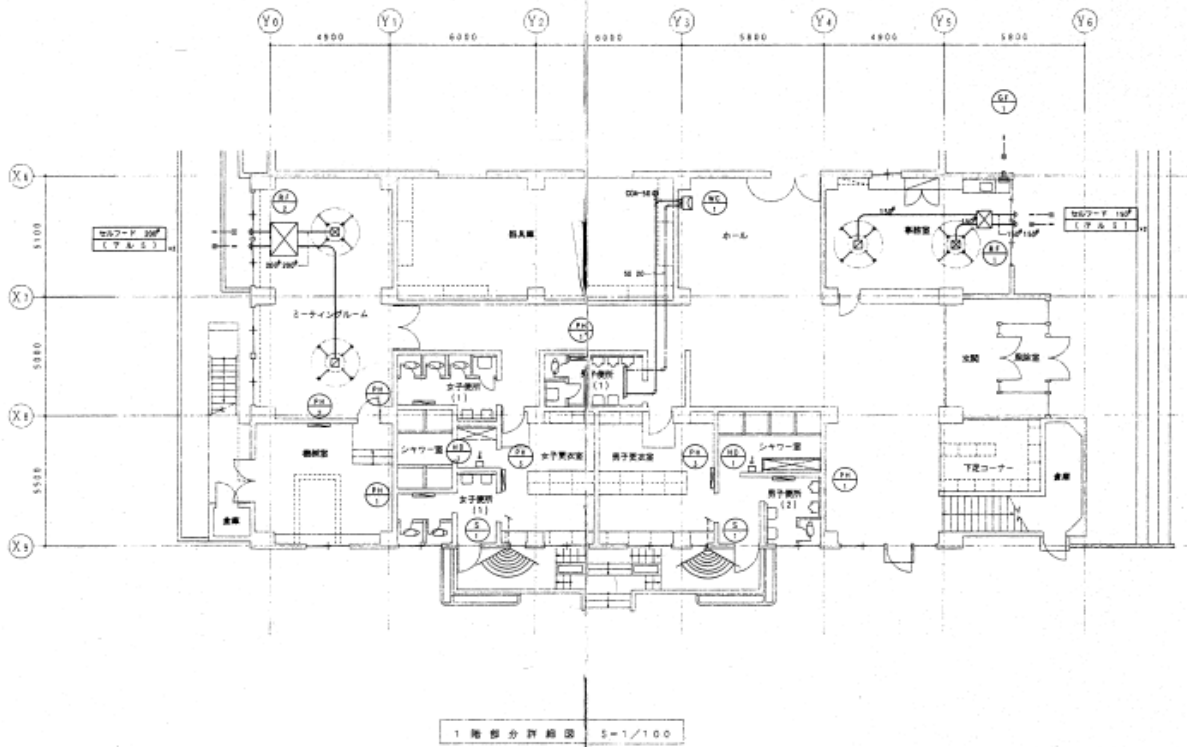
実施年度	工事名
H4.H5	B&G財団栗沢海洋センター建設工事
H11	海洋センタープール床シート張
H16	海洋センター軒天改修工事
H16	海洋センタープール附帯設備補修工事
H17	海洋センタープール補修工事
H17	海洋センタープール照明器具改修工事
H29	栗沢B&G海洋センター改修工事

4 財務情報(R1)

市収支 (千円)

歳入		歳出	
使用料	17	光熱水費	0
財産貸付料		維持保全費	788
補助金・負担金		指定管理料	19,261
その他		使用料	0
		人件費	0
		その他	0
	17		20,049

5 施設図面





6 劣化度調査

項目	細目	判定				概要	判定
		A	B	C	D		
安全性	躯体		○				B
	屋根・屋上		○				
	外壁		○				
	外構			○			
	耐震性	新耐震					
機能性	窓ガラス			○			C
	サッシ		○				
	内装			○			
	室内環境			○			
	空調設備			○		プール用暖房器具1台故障	
	トイレ設備		○				
	電気設備			○			
	給水設備		○				
	排水設備			○		プール内に水漏れ有	
	バリアフリー			○			
	省エネ対策				○		
	災害対策				○		
法令適合性	12条点検結果						B
	消防点検		○				
	電気工作物点検		○				
	地下タンク		○				
安全対策	特定天井対策	特定天井無し					B
	AED	有				アリーナ棟に設置	
	落下防止対策	未済					
	非構造部材耐震対策	未済					

各室状況



施設名	広さ	縦×横	天井高	床材	照明設備	備考
一般プール	375m	15m×25m	2.6m～5.3m	モルタル塗装	水銀灯	25m×6コース
幼児用プール	88m	11m×8m	2.6m～5.3m	モルタル塗装	水銀灯	

7 施設写真

	一般プール		幼児用プール
	塗装劣化		塗装劣化

	個別暖房機		機械設備
	老朽化による機能低下		新築時から使用しているものが多く、いずれも更新時期を迎えている。

	プール内設備		プール鉄骨
	電気設備の劣化		一部サビあり

	トイレ		ロッカー室
	洋式化済み		

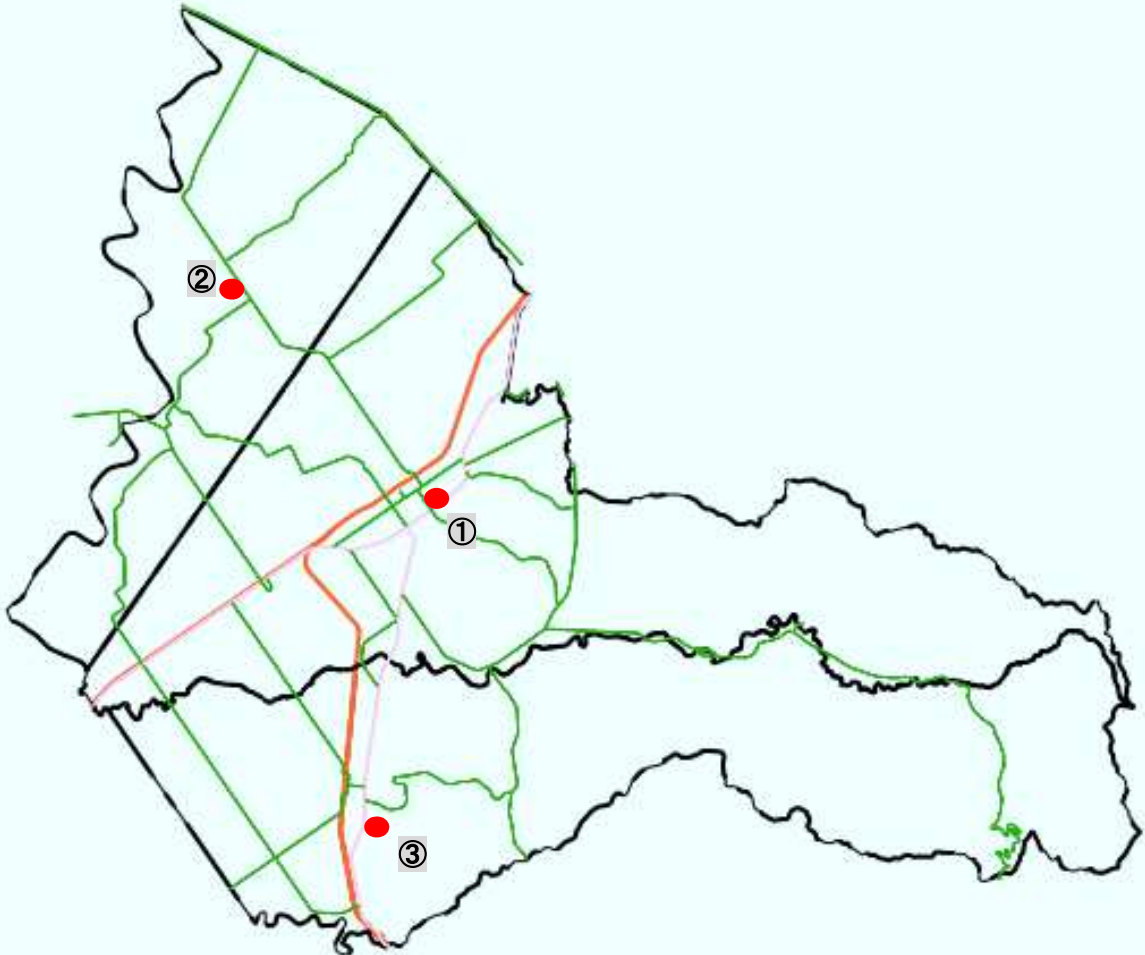
施設の方向性	改善	整備手法	機能改修
2次評価の必要性	有		
その他特記事項			

4 施設の環境評価

1 対象施設の配置状況

この計画の対象としているプール施設の配置状況については以下のとおりである。

市町村合併前の旧岩見沢市域では、線路を挟んで南北に配置され、旧北村、旧栗沢町の区域においてもバランス良く配置されている。



	施設名	所在
①	岩見沢市温水プール	岩見沢市9条東2丁目1番地1
②	岩見沢市北村プール	岩見沢市北村中央4725番地
③	栗沢B&G海洋センター	岩見沢市栗沢町最上506番地1

2 対象施設の利用状況

各施設の平成31年1月から令和元年12月までの利用状況分析を行う。本来であれば直近年度の利用状況を用いるべきであるが、新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2年1月～令和3年3月の利用状況は例年と比べて著しく低い利用状況となっているため、1月から12月のデータを用いることとした。

(1) 岩見沢市温水プール

冬期に利用人数が減少するものの、年間を通じて多くの利用がある。小学生の水泳教室を中心とした指定管理者の自主事業の利用者が多く、健康増進に寄与している。観覧席の少なさから、施設全館を貸し切ったの大会目的の利用はほとんどない。

	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	1~12計	
一般利用	小中学生	410人	562人	655人	622人	890人	984人	1,156人	1,058人	699人	889人	625人	436人	8,986人
	高校生	61人	67人	94人	62人	73人	49人	82人	98人	36人	30人	45人	34人	731人
	一般	561人	793人	756人	528人	1,132人	999人	1,206人	1,090人	707人	740人	861人	638人	10,011人
	シニア	304人	487人	439人	228人	570人	648人	588人	392人	447人	521人	487人	391人	5,502人
	小計	1,336人	1,909人	1,944人	1,440人	2,665人	2,680人	3,032人	2,638人	1,889人	2,180人	2,018人	1,499人	25,230人
無料利用	幼児	120人	200人	241人	106人	193人	239人	270人	237人	179人	188人	157人	151人	2,281人
	障がい者	117人	153人	144人	132人	162人	183人	197人	189人	167人	189人	150人	116人	1,899人
	指導員	189人	222人	217人	222人	258人	321人	289人	198人	250人	280人	254人	228人	2,928人
	体育授業等	0人	0人	0人	0人	0人	719人	1,122人	320人	535人	57人	人	人	2,753人
小計	426人	575人	602人	460人	613人	1,462人	1,878人	944人	1,131人	714人	561人	495人	9,861人	
自主事業等	1,830人	1,702人	2,026人	1,950人	1,990人	2,351人	2,391人	1,954人	2,129人	2,421人	1,918人	1,690人	24,352人	
合計	3,592人	4,186人	4,572人	3,850人	5,268人	6,493人	7,301人	5,536人	5,149人	5,315人	4,497人	3,684人	59,443人	
専用	コース	13件	93件	98件	74件	138件	143件	94件	81件	71件	129件	153件	83件	1,170件
	全館	件	件	件	件	件	1件	件	件	件	件	件	件	1件

(2) 岩見沢市北村プール

夏期のみ開設ではあるが、夏休み期間は多くの利用があり、周辺の宿泊施設やキャンプ場からの市外の利用者も見られる。

	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	1~12計	
一般利用	市内一般	人	人	人	人	人	107人	322人	427人	171人	人	人	人	1,027人
	市内児童生徒	人	人	人	人	人	88人	349人	446人	58人	人	人	人	941人
	市外一般	人	人	人	人	人	13人	45人	66人	15人	人	人	人	139人
	市外児童生徒	人	人	人	人	人	3人	65人	106人	4人	人	人	人	178人
	小計	0人	0人	0人	0人	0人	211人	781人	1,045人	248人	0人	0人	0人	2,285人
無料利用	障がい者	人	人	人	人	人	0人	2人	6人	0人	人	人	人	8人
	中学生	人	人	人	人	人	18人	107人	4人	2人	人	人	人	131人
	小学生	人	人	人	人	人	266人	603人	418人	307人	人	人	人	1,594人
	保育園等	人	人	人	人	人	6人	238人	49人	8人	人	人	人	301人
	その他	人	人	人	0人	0人	47人	150人	113人	63人	人	人	人	373人
小計	0人	0人	0人	0人	0人	337人	1,100人	590人	380人	0人	0人	0人	2,407人	
自主事業等	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	0人	
合計	0人	0人	0人	0人	0人	548人	1,881人	1,635人	628人	0人	0人	0人	4,692人	

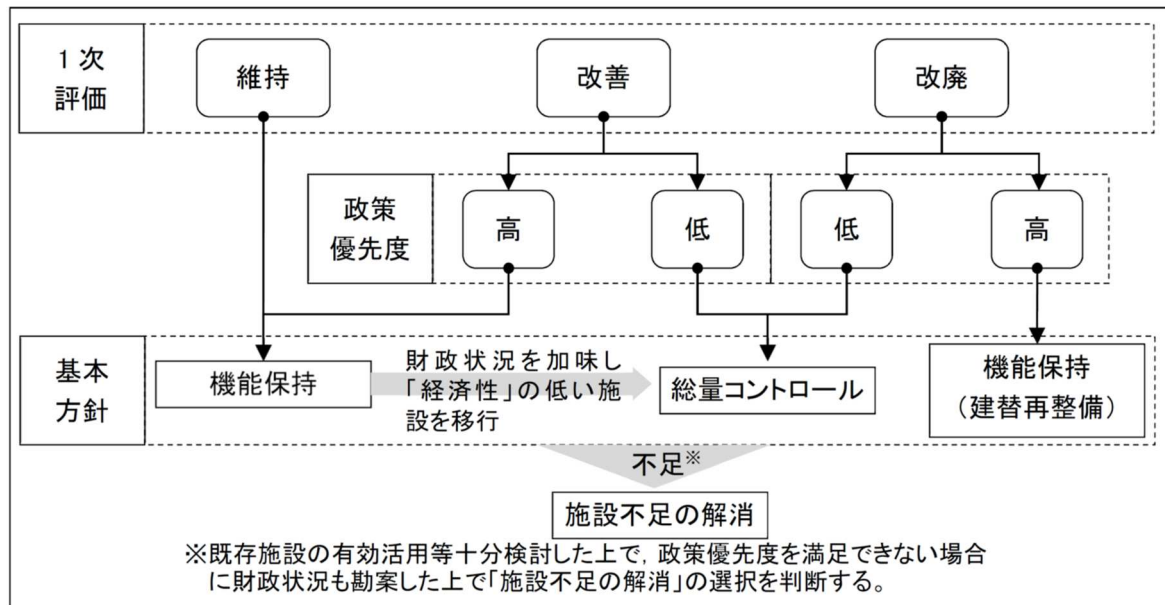
(3) 栗沢B&G海洋センタープール

夏期のみ開設ではあるが、夏休み期間は多くの利用がある。暖房設備があるため、10月まで開設しているが、室内が快適になるほどの機器ではないため、10月の利用者は極端に減少する。

	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	1~12計	
一般利用	小中学生	人	人	人	人	人	311人	422人	205人	37人	4人	人	人	979人
	高校生	人	人	人	人	人	0人	4人	7人	4人	0人	人	人	15人
	一般	人	人	人	人	人	315人	522人	379人	178人	34人	人	人	1,428人
	小計	0人	0人	0人	0人	0人	626人	948人	591人	219人	38人	0人	0人	2,422人
無料利用	幼児	人	人	人	人	人	5人	106人	25人	3人	1人	人	人	140人
	幼稚園等	人	人	人	人	人	0人	158人	48人	0人	0人	人	人	206人
	学校授業	人	人	人	人	人	299人	361人	248人	665人	0人	人	人	1,573人
	身障者	人	人	人	人	人	0人	8人	7人	11人	0人	人	人	26人
小計	0人	0人	0人	0人	0人	304人	633人	328人	679人	1人	0人	0人	1,945人	
合計	0人	0人	0人	0人	0人	930人	1,581人	919人	898人	39人	0人	0人	4,367人	

3 施設の基本方針に関する検討【2次評価】

各施設の方向性、整備方針（1次評価）に加えて、施設の配置状況、利用状況等から各施設の2次評価を行う。2次評価にあたっては、「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン（スポーツ庁）」が示す次のフローチャートを活用する。

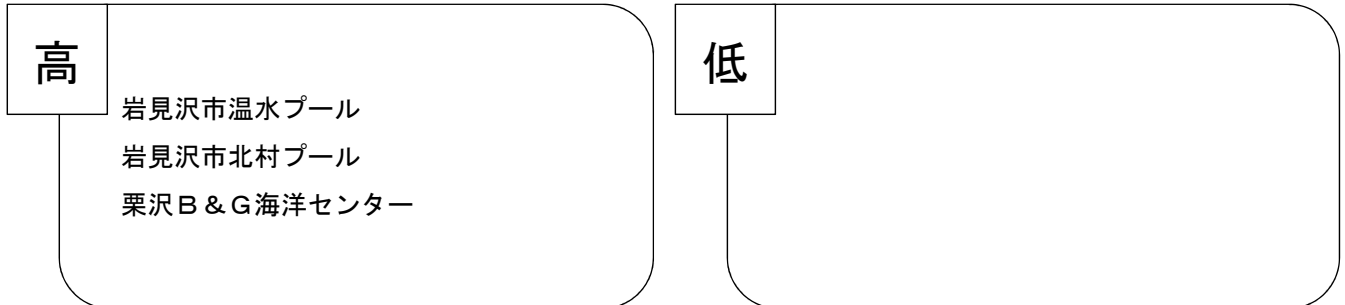


スポーツ環境に関する情報に基づき政策優先度の評価を行い、基本方針を定める。

(1) 政策優先度の評価

政策優先度の評価基準

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用が多い。 ・現在の施設利用者の満足度が高い。 ・運営や施設機能の向上により、大幅に利用状況が改善される見込みがある。 ・圏域にそのスポーツの実施場所がなく、希少性が高い。 ・整備目的が明確で、目的に合致した利用が継続的に行われている。 ・地域防災計画において、災害拠点や避難施設としての指定されており、代替できる施設がない。 	高
<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用が少ない。 ・現在の施設利用者の満足度が低い。 ・特定の団体が利用し、実利用者が少ない。 ・周辺の人口動態等を踏まえると、運営や施設機能の向上を図っても利用状況の改善の見込みがない。 ・整備目的や施設内容と利用実態が整合していない。 ・学校開放等の既存施設の活用により、現在の利用を代替できる。 ・地域防災計画において、災害拠点や避難施設としての指定されていない。若しくは、指定されているが、近隣に代替できる施設がある。 	低



(2) 基本方針の概要

基本方針	内容
機能保持	現在の施設の機能を保持する。老朽化やそれに伴う維持管理費の増加に対応できるよう、計画的な対応方針を施設ごとに検討する。老朽化が激しいものについては建替再整備の時期や方法について検討する。
総量コントロール	将来的に維持管理し続けることができない施設について、廃止や転用の時期、方法について検討する。
施設不足の解消	スポーツ施設が不足している状態である場合、利用可能なスポーツ施設を増やすことを目指す。

4 各施設の2次評価（基本方針）

以上のことから、2次評価におけるフローチャートに当てはめて各施設の基本方針を定める。

（1）岩見沢市温水プール【機能保持】

岩見沢市内で通年利用できる唯一のプール施設であり、稼働率も年間を通して高い。しかし、建設から24年を経過し、中規模な改修が必要な時期となっており、特に、設備機器等の老朽化が顕著である。また、岩見沢小学校、中央小学校、南小学校、東小学校、日の出小学校、美園小学校の6校73学級のプール授業を受け入れる必要があり、集約化は困難であることから、施設機能を保持する。

（2）岩見沢北村プール【機能保持】

建設から22年を経過し、中規模な改修が必要な時期となっている。北村温泉やキャンプ場などと併せての利用がみられ、機能改修により利用者の増加を見込むことができる。また、第一小学校、北真小学校、北村小学校の3校25学級のプール授業を受け入れる必要があり、集約化は困難であることから、施設機能を保持する。

（3）栗沢B&G海洋センター【機能保持】

建設から27年を経過し、中規模な改修が必要な時期となっているが、B&G財団の助成により建築された建物であるため、今後も財団の助成による施設改修が見込むことができる。また、志文小学校、幌向小学校、第二小学校、メープル小学校、栗沢小学校の5校34学級のプール授業を受け入れる必要があり、集約化は困難であることから、施設機能を保持する。

5 プール施設の個別施設計画

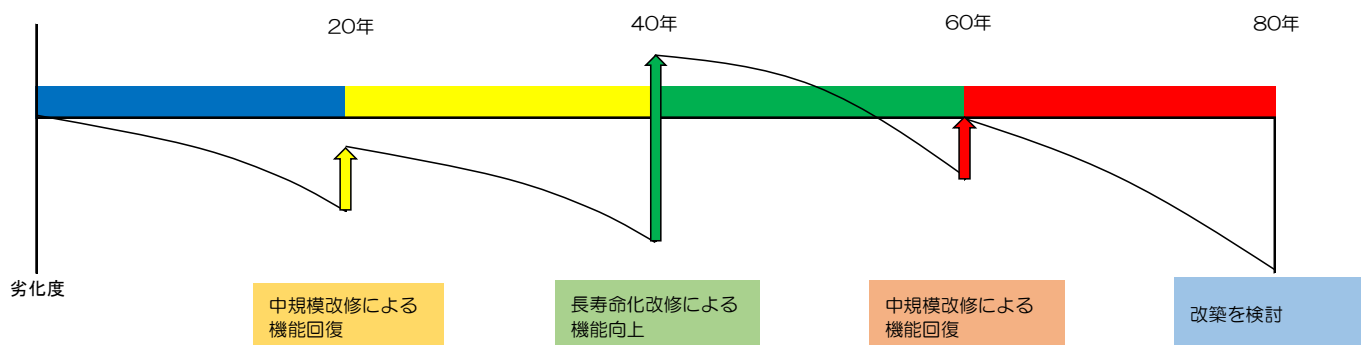
1 長寿命化のための基本的な方針

本計画においては、原則的な改修周期として、建築後20年を目安に中規模改修を実施し、建築後40年を目安に長寿命化改修を実施する。その後20年を目安に再度、中規模改修を実施し、建築後80年を目安に改築を検討する。建築後大規模改修が行われていない施設については、建築後40年を目安に長寿命化改修を実施する。

ただし、以下の場合などは長寿命化改修を実施せずに再整備等を検討するものとする。

- ・鉄筋コンクリートの劣化が激しく、改修に多額の費用が掛かるため改築した方が安価
- ・コンクリート強度が著しく低い（おおむね13.5N/mm²以下）
- ・基礎の多くの部分で鉄筋が腐食している
- ・環境の安全性や建物の配置に問題があり、改修によっては適切な環境を確保できない
- ・利用者の大幅な低下などの事情により改築せざるを得ない

	中規模改修	長寿命化改修	中規模改修	改築
	20年	40年	60年	80年
建築	屋上防水改修	屋上防水改修	屋上防水改修	
	外壁改修	外壁改修	外壁改修	
		外部建具改修		
		内部改修		
電気設備	照明器具のLED化			
		電気設備更新		
機械設備	衛生設備更新	衛生設備更新	衛生設備更新	
		暖房機器更新		
	ボイラー交換	ボイラー交換	ボイラー交換	
		受水槽交換		
	防災設備更新	防災設備更新	防災設備更新	



2 各施設の個別施設計画

これまでの施設評価の結果に基づき、岩見沢市公共施設再編基本計画の計画期間のうち第1期における整備計画を次のとおり定める。

	整備手法	基本方針	具体的な実施内容
岩見沢市温水プール	機能改修	機能維持	建物躯体の予防的改修及び高効率設備の導入により、維持管理費用の低減を図る。
岩見沢市北村プール	機能改修	機能維持	利用状況に応じた施設改修と高効率設備の導入により、維持管理費用の低減を図る。
栗沢B&G海洋センター	機能改修	機能維持	利用状況に応じた施設改修と高効率設備の導入により、維持管理費用の低減を図る。

	R3	R4	R5	R6	R7
岩見沢市温水プール			中規模改修設計	中規模改修工事	
岩見沢市北村プール					設備等改修設計
栗沢B&G海洋センター		設備等改修設計	設備等改修工事		

3 推進・取組体制

プール施設の改廃・再編の具体的な検討については、スポーツ振興政策の方向性や各競技団体の動向、プール施設以外の公共施設の整備・利用状況や広域での類似施設の配置状況などを勘案する必要がある。

本計画の1回目の見直しとなる令和8年度以降は、「岩見沢市社会体育施設個別施設」の見直しと合わせて施設の評価を行い、基本方針等を検討するものとする。

